## 重点分野におけるライフステージごとの取り組み(取り組みの体系図)

■衣「 里点分野におけるフィノスナーシことの取り組み(取り組みの体系図)					
		妊娠期・乳幼児期 妊婦・0歳~6歳	学齢期・思春期 7歳~19歳	働き盛り年代 20歳~64歳	高齢期 65歳以上
<ul><li>取り組みの</li><li>体系図</li></ul>					
£	きべる	●朝ごはんをしっかり食べ よう ● 1日3食バランスの良い 食事を心掛けよう	<ul> <li>朝ごはんをしっかり食べよう</li> <li>主食、主菜、副菜のそろったバランスの良い食事を心掛けよう</li> <li>食事を作る力を身に付けよう</li> </ul>	●毎日朝食を食べ、主食、 主菜、副菜のそろったバラ ンスの良い薄味の食事を心 掛けよう ●栄養の過剰摂取に気を付 け、適正体重を維持しよう	●自分の適量と必要な栄養 を知り、バランスの良い食 事をしよう
動 <		●家族や友達とふれあい、 楽しく安全に体を動かそう	●積極的に体を動かし、基 礎体力を向上させよう	●日常生活の中で、意識し て体を動かす時間をつくろ う	●自分に適した運動を行 い、足腰の痛みを予防、軽 減しよう ●毎日の生活の中で、体を 動かす機会を増やそう
223		<ul> <li>安心して妊娠期を過ごし、赤ちゃんを迎えよう</li> <li>親子のふれ合いを大切にし、子どもの心と体を健やかに育てよう</li> </ul>	<ul> <li>家族や友達とのコミュニ ケーションを大事にし、健 やかな心を育もう</li> <li>困ったときは相談しよう</li> </ul>	<ul> <li>自分に合ったリラックス 方法を見つけよう</li> <li>家庭や地域でのコミュニ ケーションを大切にしよう</li> <li>自殺のない、生きやすい 地域づくりを推進しよう</li> </ul>	<ul> <li>1日1笑、楽しみ・生き がいを持って生活しよう</li> <li>交流の場に積極的に参加 しよう</li> </ul>
	良い 習慣	●早寝早起きの習慣を身に 付けよう	●健康的な生活リズムを身 に付けよう ●男女の性を理解し、互い を尊重することや命の大切 さを学び合おう	<ul> <li>定期的に健(検)診を受け、自分の健康状態を確認しよう</li> <li>異常がある時は、改善のための取り組みをしよう</li> </ul>	●体の変化や異常に早期に 対応しよう
守る	歯の 健康	●保護者による毎日の仕上 げ磨きにより、子どもの虫 歯を減らそう	●自分で上手に歯を磨ける 力を身に付けよう	●定期的に歯科健診を受け、歯周病を予防しよう	●良い口腔機能を維持し、 いつまでもおいしく楽しく 食べよう
	<b>タバコ</b> アルコール	●妊婦や乳幼児をタバコの 害から守ろう	<ul> <li>タバコの害について知り、</li> <li>自ら遠ざかろう</li> </ul>	<ul> <li>適量飲酒を心掛け、生活 習慣病を予防しよう</li> <li>禁煙、分煙に積極的に取り組もう</li> </ul>	<ul> <li>適量飲酒を守り、豊かな 老後を楽しもう</li> <li>禁煙、分煙に積極的に取 り組もう</li> </ul>

代 かう子どもが少なくなく、20は、朝食を取らずに学校へ向 て 1 な行動指針として、 かりました。 少傾向にあるということが分 を健康と感じている人が、 になっています。 を明確にしています。 点分野とし、 テージ別に ています。 食を欠食する人が2割に達し つ人が多く、 も見受けられます。 よる死亡率は、 「こころ」「守る」の4つを重 [食べる] また、 そこで本計画では、 30代の若者世代では、 アンケー さらに、 「食べる」「動く」 取り組みの体系 トの結果で ライフス 自分自身 具体的 ( 表 1 減 朝

です。 んは語ります。今では生活の力が大きかった」と由紀子さ した。 ていると笑顔を見せてくれ 直すには、義父母の理解と協 食事には気を付けているそう 様子もよくわかります」と語 ることで、 確認できる機会にもなります 家族が顔を合わせて朝食をと 取り組みを呼び掛けています の健康状態にも、 リズムも良くなり、 ように。そして、食生活を見 のを減らしたことで、 と分かりました。それ以来、 の史弥くん(4)が太り気味 歳6カ月児健診の際に、息子 高橋由紀子さん(40)は、 る子育て中の母親、 ることで、 ろって朝食デイ」に設定し 1日1回にしました。 『おいしい』と言って食べる 「朝食を家族そろって食べ 「間食は、午後3時の その日の子どもの 家族の健康状態を 成果が表れ 水沢区の 史弥く 野菜を 甘いも 3 ま  $\mathcal{N}$ 



います。

## 具体的な取り組み

大人では進行した歯周病を持 虫歯は減少しているものの、 は、大人だけでなく子どもに 生活習慣病の温床となる肥満 本市における脳血管疾患に ・4倍にのぼっています。 その傾向が顕著 全国と比較し 子どもの

市は、毎月21日を

「家族そ

5

	■問い合わせ=水沢保建センター(13234511)」で基本となる本言画の株男でお失らせします
--	--

ます ジに応じた総合的な健康増進 視されるなど、 幼少期からの予防活動が重要 を進める必要性が高まってい が生じてきました。 解決すべき課題に大きな変化 健康な生活を維持するために そこで市は、 ライフステー さらに、

行うことを目的として、

平 成

に取り組むための環境整備を

の大切さを自覚し、

健康増進

市は、

皆さんが健康づくり

計画策定の趣旨

20年3月に「第1

次健康おう

21プラン」(期間は25年から29指し「第2次健康おうしゆうきいきと生活できる環境を目 を解決し、 市民一人一人がい

雑化や生活習慣病の増加など、の加速に加え、育児環境の複しかし、近年、少子高齢化

た。

から24年まで)を策定しまししゅう21プラン」(期間は20年

定めています。 の健康づくりに向けた目標を 各年代の現状と課題を明らか にすることで、その年代ごと 基本となる理念

ました。 あふれるまち」と理念を定め 子どもが育ち、 本計画では「慈しみ愛され 笑顔と健康が

込めて定めたものです

計画の推進

本計画には、

下の3つの

基

できるまちになるよう願いをの市民が健康で安心して生活 どもからお年寄りまで、 働の取り組みなどを通じ、 持ちながら、 これは、 皆さんが主体性を 地域における協 全 て 子

標を共有し、役割を分担した係機関や団体などと目的や目

新たな課題に対応した

上で、

この基本方針をもとに、本方針を掲げています。

関

た一次予防の重視

康づくりの実践

くりの推進

○生活習慣の改善を中心とし

○市民一人一人の主体的な健

○地域との協働による健康づ

■計画の基本方針



【特集】 明らかにしています。今回、皆さんの健康を考える ラン」を策定しました。第1次計画の内容を見直し た本計画では、新たな課題への対応の方向性などを 上で基本となる本 健康おうしゅう21フラン策定 市は、ことし3月に「第2次健康おうしゅう21プ 計画 の既要をお知らせ します。 いまと 内容を見直しました。 果や最新の統計数値をもとに 評価に加え、アンケー 年まで)を策定しました。 本計画では、 第1次計画の さらに、 -トの結

運動教室で楽しく体を動かして健康維持に努めています(健康増進プラザ悠悠館)